



# こうべ森の学校だより

祝 No.100

2021年11・12月号

発行人:こうべ森の学校 編集委員会

発行所:神戸市北区山田町下谷上上中一里山 4-1

神戸市森林整備事務所内

Tel:078-321-5937 Fax:078-371-1087

## 月例会 再開 !!

11月13日(土)、7か月ぶりに再開されました。小春日の再度公園に、34名の笑顔が集まりました。あちらこちらから、挨拶や、「元気やった!？」等、お互いを気遣いの声が聞こえました。

久しぶりの活動なので、改めて安全面の確認と、コロナ対策に配慮するよう求め、準備体操後終日森の手入れに、全員が弁当を持って、作業地へ入りました。



みなさん、良い顔です (マスクで、見えにくいですが)



体操にも、気合が入っていますね !!



長い間、手が入ってなかったので、笹が生い茂り、終日、笹刈りに追われる班もありました。でも、久しぶりの活動を楽しそうに、作業されている様子でした。

### まずは長く伸びた笹刈りから



### 林床が見えてきた



新加入のご夫妻は、講習後、森に入り丁寧な仕草で、作業されていました



### 修法ヶ原池畔の案内板を塗り替え

再度山を望む池畔に建てられた「国指定名勝」の案内板は、平成 18 年に、都市公園としては、日本初の登録記念物に、登録されたものです。文字も板も、色がくすんできていたものを木工班が塗り替えて、リニューアルしました。バックの紅葉に、よく映えています !!





🌲 新会員のご紹介 🌲

どうぞよろしくお願ひします

橋本 典子

数年前、車で何気なく入った再度公園でした。木工小屋を見つけて興味を持ち覗いてみました。ここでは自由に工具を使って作業が出来ると聞いて、わくわくしたことを覚えています。その頃は老犬と暮らしていたので、今は無理だけどいつか通えたら良いなという気持ちで公園を後にしました。

今年の秋になって 木工小屋はまだあるのかな？と訪ねてみました。その日、この木工小屋は 公園を守るボランティアの方々の施設であることを知りました。ボランティアの内容は、森の作業班・木工作業班に分かれていて、午前中はボランティアに専念する。そしてお昼からの作業が終わったら工具を貸していただけるということでした。

私の興味は、この日のために家で貯めていた端材料で、小物を作るということから、ボランティアの内容へと移りました。普段から 低い山歩きや バイクでの林道ツーリングや、キャンプをちょこちょこやっていたので、山での活動が好きでした。この山の公園で活動できるなんて 面白そう。森で働く人も格好いいと思っていたので、最初の研修でヘルメットを被り、ベルトに剪定鋏とノコギリをぶら下げて 満面の笑顔で先輩スタッフの後ろを歩きました。

適当な 木を見つけて 道具の使い方を教わりました。生きている木を切るのは、少しためらいも有るけれど 森全体を元気にするための作業です。木を切ること自体は好きなので、OK が出ると、ためらいも忘れてとりかかります。正しい知識を教えていただきながら 伐採する木を選んでいく。伐った枝は出来るだけ小さくして、丸太は長さを揃えて行儀良く並べます。伸びすぎた下草は刈って森の環境を整える。

講習が終わってからは ペンキ塗りや 木工アクセサリも少しお手伝いが出来ました。物知りの先輩や 森の作業着がビシッと決まった先輩に少しずつ近づけるように 楽しく学んでいきたいと思いました。

公園を訪れる方々が、気持ち良く過ごせますように。

森の植物や動物が、元気に過ごせますように。

私たちボランティアスタッフが、安全に楽しく活動ができますように。

そして、ちっぽけな私の力が、少しでもお役に立てば嬉しいと思いました。

どうぞよろしく、お願ひいたします 🐸



自称 森人 (もりんちゅ)

## 「こうべ森の学校だより」100回刊行 !!

### 編集委員会

今から18年前の平成15(2003)年11月3日、「こうべ森の学校 発足式」が、当時の神戸市長・伊藤ハム(株)社長が臨席の中、執り行われました。荒れ果てた山地に、本格的な植林事業を始めて以来100年にわたり、緑化を継続してきた節目の年でもありました。この緑化の成果を受け継ぎ、市民・企業・行政の参画と協働によって、森林の保全・育成を図り、より豊かな緑を次代に継承するための、市民活動の拠点として「こうべ森の学校」が発足しました。

今日まで、この活動を「森学だより」は、“今の森学”を都度発信し、また、会員相互の情報伝達・交換の役目も担ってきました。コロナ禍で、活動も縮小気味でしたが、平日活動の再開・2年ぶりの文化祭開催、11月からは、月例会も再開しています。

このように、通常に戻りつつある中で、活動時のエピソードも増えてくると思われますので、会員皆様におかれましても、「こんなのはどう?!、こんな事があったよ?!」というのがありましたら、是非想いを寄せていただきますよう、お願いいたします。 **200回刊行を目指し!!**

## 自然災害時のボランティアセンター立上げ訓練

### 木下 英吉

”11月12日(金)大雨の影響により明石川が氾濫し、明石川下流域一帯の浸水被害発生”との災害想定で、11月14日(日)災害ボランティア(以下、ボラ)センター立上げの訓練を行いました。災害ボラの事前登録者・明石市役所職員80名が参加して、ボラ受付 → オリエンテーション → グルーピング → ニーズのマッチング → 資材の積込み → 現場での作業 → 作業後の報告等一連の作業工程毎に説明を行い、5人1組に分かれ、各工程の訓練開始です。

私も明石市に過去35年間住んでいたことがあり、当時から明石市社協に、災害ボラの事前登録をして、現在も継続中です。各地の災害ボラに赴いていた私等3名は、各工程の行動を見て、評価する役目です。市社協とこの3名は、これまで、訓練内容の事前協議を3回重ね、今日に至りました。

### 検温後、参加者の受付



### 注意事項等、事前のオリエンテーション

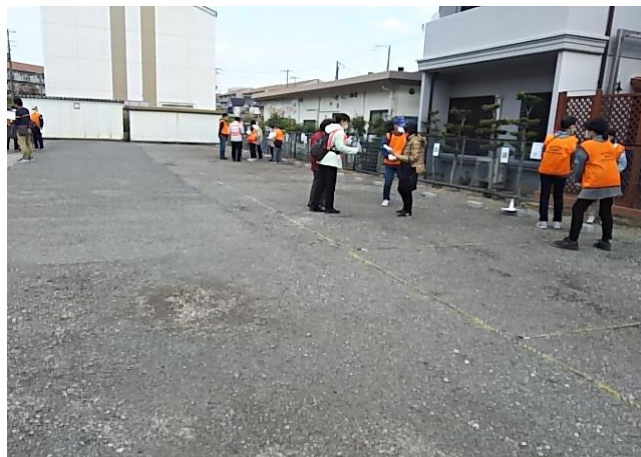




## ニーズのマッチング



## 依頼者と、作業内容等の確認



## 活動後の報告



## 全員で、訓練の振り返り



毎年、災害ボラ事前登録者を対象に、災害時にどういった行動が必要なのか、各地で起きた自然災害に触れ、講習・研修を実施してきました。参加者自身が考え・行動する訓練は、今回が初めての試みでした。参加者のほとんどが、ボラ未経験者なので、各々がどういった動きをしてよいか戸惑う場面も、あちらこちらで見受けられました。

終了後の、全体での振り返りでは、「受付時のニーズと、現地での内容が異なったが、臨機応変な対応が必要と感じた」・「頭の中で想っていた事と、実動してみて感じた事が違くと、実感した」等、訓練の成果が得られたのかなと、感じられました。

同市社協は、来年以降も続ける意向です。



**11/24 宍粟・県立国見の森公園と最上山もみじ山を訪問（事務所・運営スタッフ合同現地研修会）**

☆ 行 程： 湊川神社⇒中国道山崎 IC⇒国見の森公園⇒昼食⇒最上山公園もみじ山⇒湊川神社。

☆ 参加者： 19名

当初、午前・国見の森公園訪問を決め、午後・県森林林業技術センターを計画したが、コロナ禍で受入れ不可。代案でもみじ山訪問を決定。 コロナの影響が流動的だったため、現地研修としては遅い時期になった。

国見の森は、急傾斜の山を公園に仕立て、花の谷・教科書の森、ビオトープ・色彩の森・実りの森・人工林を整備し、「見せる森化」を進めている端美の森などのコンセプトで、ボランティアを導入しながらの整備途上との印象。

天候に恵まれ、標高 465mの頂上展望台からの眺望・紅葉・自然観察を楽しみました。頂上直下までミニモノレール利用で楽々な上り、帰りは徒歩班とモノレール班に分かれて下山・昼食。宍粟市街地のそばにある、最上山公園（標高 338m）は、紅葉真っ盛り、観光客は多いが、山全体に張り巡らせた道を登ると、上も下も紅葉。錦秋を満喫。下山した市街地の酒蔵に新酒の貼り紙。地元産業振興にも貢献。みなさん「大満足！」だったようです。



ミニモノレールで山上へ



国見山頂上展望台



展望台からのパノラマ



学習館（山上）



マツカゼソウ花



イイギリの実

宍粟・酒蔵、もみじ山 2 景





コロナ下の アウトドアクッキング 燻製



食材の乾燥



隈元 和美

今回の食材は

- 骨付きモモ肉2本  
(3%の食塩水に、3時間以上漬けたもの)
- 市販のたくあん(15cm) 2本

燻製の準備作業

七輪に炭をおこし、焼き網の上にアルミ容器を二枚重ね、桜チップ(再度山産)中心を空けてセット



小型のドラム缶の底をくり抜いた、手製の薫製器に、食材をぶら下げ蓋をして、煙の出具合をみながら、チップも換えながら、燻すこと2時間

完成!!

暫く置いてからの方が、煙臭さが抜けて、全く別物の一品に変身



今回は、たくあんの方が、いぶりがっこになり、チキンより風味が良くなり、美味しかった。その外、おすすめの食材は、塩鮭は、スモークサーモンに。豚バラのかたまり肉はベーコン。チーズ、ゆで卵、かまぼこ等お試し下さい。

■ 月例会参加者の、送迎バス  運行のご案内

12月から3月は、三ノ宮駅～森林植物園の路線バスが運休のため、送迎バスを運行しています。どうぞ、ご利用ください。

(三井住友銀行前)

- 往路 — 湊川神社道路向かい ⇒ 神鉄 北鈴蘭台駅 ⇒ 再度公園  
AM 9:00 発 AM 9:30 発 AM 9:40 着
- 復路 — 再度公園 ⇒ 神鉄 北鈴蘭台駅 ⇒ 神戸駅北側 湊川神社前  
PM 3:00 発 PM 3:10 着 PM 3:40 着

■ 前回の、月例会報告

| 日付        | 参加者 | 司会   | 午後・森の手入れ         | 木工工作 | 自然観察 | 苗づくり |
|-----------|-----|------|------------------|------|------|------|
| 11月13日(土) | 34名 | 木下さん | 全員、午前・午後共に、森の手入れ |      |      |      |

■ お知らせ掲示板

♣ こうべ森の小学校 & 森の幼稚園

♣ 摩耶の森クラブ

(活動日の問合せは、神戸市森林整備事務所に)

♣ ボランティア保険に加入していますか!?

森の手入れ作業中の事故に備えて「兵庫県ボランティア・市民活動災害共済保険」への加入手続きをされていますか。掛金は500円の負担で、補償期間は4月1日から翌年3月31日までです。受付窓口は、お住いの市区町社会福祉協議会です



当日6時55分のNHK-TVで、兵庫県南部の降水確率が60%以上の場合は、活動中止です

活動の開催予定

🌲 月例会 1月8日(土)、2月20日(日)

午前中は、全員で森の手入れ、  
午後は、森の手入れ・自然観察・木工・  
苗作りから、選択を予定しています。

🌲 上記の外、火・木・土曜日も、活動中です

こうべ森の学校は、発足当初から、物心両面にわたり、伊藤ハム株式会社の社会貢献活動の支援を受けて、運営しています。

< 編集後記 >

11月例会は、7か月ぶりの再開でした。それだけに、色々と気遣いながらの活動でしたが、無事・楽しく、終わることができましたね。皆様から「森学だより」への声も増えそうで、楽しみです!!  
(木下 英吉)